

【報告】『第5回 のみ SDGs 円卓会議』

7月17日(水)、辰口福社会館多目的ホールにて「第5回のみ SDGs 円卓会議」を開催しました。

本会議では、令和5年度のみ SDGs の事業報告を行ったのち、これまで検討を進めてきた「のみ指標」の可視化案および今後の普及展開策について委員のみなさまからご意見を頂戴しました。

市長あいさつ

開会に先立ち、井出市長からは、カーボンニュートラルの推進と SDGs の推進の両方を連携して取り組んでいくため、今年度より SDGs・カーボンニュートラル推進室を置くことになったことをご報告するとともに、「SDGs を推進するのは『人』。SDGs を進めていく上で自分に何ができるのか、共有していくことも重要な要素だと考えている。石川県の中で能美市が一番 SDGs が進んでいると言っていただけのような取り組みを進めていきたい」とご挨拶申し上げました。



座長あいさつ

座長にはこれまでに引き続き、能美市がSDGsの推進に取り組み始めたときから助言や支援をいただいております、過去の円卓会議でも座長を務めていただいた山本委員に務めていただくこととなりました。

山本座長からは、冒頭ご挨拶とあわせて、能美市がSDGs未来都市に選定されてからの歩みを改めて委員のみなさまにご説明いただきました。

特に、能美市が持つ人的資本や社会関係資本や人のつながり合いに着目し、「極める」「思いやる」「つなぐ」の3つのお人柄を増進していく「お人柄プロジェクト」について、その経緯や意義を詳しくご説明いただき、引き続き、人のつながり、支え合いをベースに取組を進めていくことが重要と、委員のみなさまと事務局の全員で確認ができました。

令和5年度事業報告

続いて、令和5年度の事業報告について事務局からご説明したのち、委員のみなさまからご意見を頂戴しました。

下記に主な意見をご紹介します。

- ・山本座長からのご説明とあわせて、能美市の「お人柄プロジェクト」について良く理解ができた。HPでの情報発信で「お人柄が伝わる情報発信」を心掛けていたのは、本事業の目的に合致していると評価できる。
- ・能美市はいろんな場所でいろんな人が動いているが、まだあまり外に見えていないように思う。活動している人をもっと表立って評価し、どれだけまちにとって良い影響を与えたのかが分かるようにしたい。
- ・能美市では共助の活動や、子どもたちへの支援などは自然に行われている印象がある。そのような人の温かみをどう評価するか、また、すべての人が温かさを感じられるようにするにはどうすべきかが課題である。

のみ指標の可視化案について

能美市ではこれまで、「市民力・地域力」の変化を捉える指標である「のみ指標」の評価方法の検討及び、評価の実施、市民に分かりやすく伝えるための可視化案の検討を行っています。

円卓会議では、どのようなデータを用い、どのように評価し、そしてどのように可視化を行うかを事務局からご報告させていただきました。

可視化案については、「のみ指標」の評価結果を HP にどのような形で市民のみなさまにお知らせするか、そのイメージ図もあわせてご確認いただきました。



委員のみなさまからは下記のようなご意見が寄せられました。

- ・のみ指標の可視化ページだけでなく、他のページにも、もっと写真を掲載すると良いと思った。人の心が動くのは実際に活動している人の顔が見えること。こまめに写真を撮って掲載していくことで効果があるのではと思った。
- ・ホームページへの掲載案はわかりやすいが、どのようにして市民に見てもらうかが重要。その面で、子どもを巻き込めると強い。自分の子どもが掲載されたことから興味を持つ場合もある。学校情報をより詳しく HP に掲載していくことで、子どもから親というルートが作れると良い。
- ・変化を矢印で表現するのは分かりやすいと思った。下がっている矢印について、どうすれば上向きに転換できるのかといったアクション例をセットで見せられるとより勉強になる。

令和 6 年度事業方針について

最後に、今年度の事業についてその方針を共有させていただきました。委員のみなさまからは、のみ SDGs パートナーズの活性化や連携についてご意見を多くいただきました。

- ・パートナーズ同士でひとつでも具体的なプロジェクトができれば良い。マッチングを事務局で担っていく必要があるのではないか。
- ・市役所の相談窓口に行って相談するのはハードルが高い。郵便局や学校、個人事業主などもパートナーズに加盟しているので、パートナーズにも相談の受け皿になってもらうのはどうか。
- ・子どもたちがパートナーズとつながり、自身の学習課題について教えてもらったり連携したりできれば、探求的な学びにつながり、「社会課題解決に貢献できた」という自己効力感につながる。



2020年度に能美市がSDGs未来都市に選定されてから、今年度で5年目の取り組みとなります。

会議の中では、「これまで行ってきた様々な取り組みを、相互に連携させながらSDGsの推進をより加速できれば」という意見も多くいただきました。

委員のみなさまからいただいたご意見を、今年度の取り組みに反映させながら、今年度も市民のみなさまとともに、進んでいきたいと思っております。